

旧松川小応急仮設住宅

県立福島明成高校の生徒から住民にバウムクーヘンが贈られました。バウムクーヘンはチョコレート味で、同校で生産した米粉や卵が使われています。これは生徒らの商品開発に協力する地元企業が支援する企画で、2年連続。受け取った皆さんは「力になります」「大事に味わいたい」と話していました。



代表生徒が手渡しでプレゼント。いたわりと感謝の言葉が交わされました

2/13

笑顔咲きました



プレゼントには「笑顔の花が咲きますように」と書かれていました

バウムクーヘンは松川地区の他の3つの自治会にも届けられました



アルバム

つながる自治会の取り組み

松川第一応急仮設住宅

全日空と日本赤十字社が開催したイベントに住民約40人が参加。客室乗務員や地上スタッフら22人と交流しました。イベントでは体操教室やバレンタインのケーキ作りなどをにぎやかに。他にも機内サービス式に飲み物が配られたり、チョコレートがプレゼントされたりと、笑顔の交流が続きました。



地上スタッフの皆さんも一緒に昼食。ふるさとを紹介し合うなど和やかな会話が続きました

生クリームやフルーツを使って、1人1台のケーキをカラフルに仕上げました



この日82歳の誕生日を迎えた菅野重光さん(飯樋町)を皆で祝福しました



いやー汗かいたよ

2/14

飯野町団地



桑名幸美さん(草野)は94歳。美しい折り紙細工を持参して披露しました



こうしてゆっくり話す機会は初めて。親交を深めました

1/30



日頃は皆で集まることのないからこういうのはいいよね

菅野ミツさん(比曽)

集会所にて高齢者の交流会が初めて開かれました。自治会を支援するNPO法人「みんぷく」が手作りの豚汁や漬物などを準備し協力しました。参加者は現状や思いを語り合い昼食を囲んで団らん。菅野ハルさん(比曽)は「顔が見られるだけでもいいね」と、早くも次回が楽しみなようすでした。

蓬萊県営住宅

集会所で開いたサロンに、住民の元気な笑顔が集まりました。ストーブでわかした温かいお茶を手におしゃべりがはずみます。バイクに乗っていた若い頃の武勇伝や、団地を住み家にして猫の話など、愉快的な話に笑い通しです。サロンの後には、翌日の節分に合わせて恵方巻きや豆菓子を全家庭に配りました。



おだやかな笑い声が室内に広がります

2/2

話題の団地猫「にゃんこ」ものぞぎに来ていました



「元気でいい年に」と願う節分サロンです

